

# 湯つたりたたみ

## 施工要領書



極東産機株式会社

コンシューマ事業部

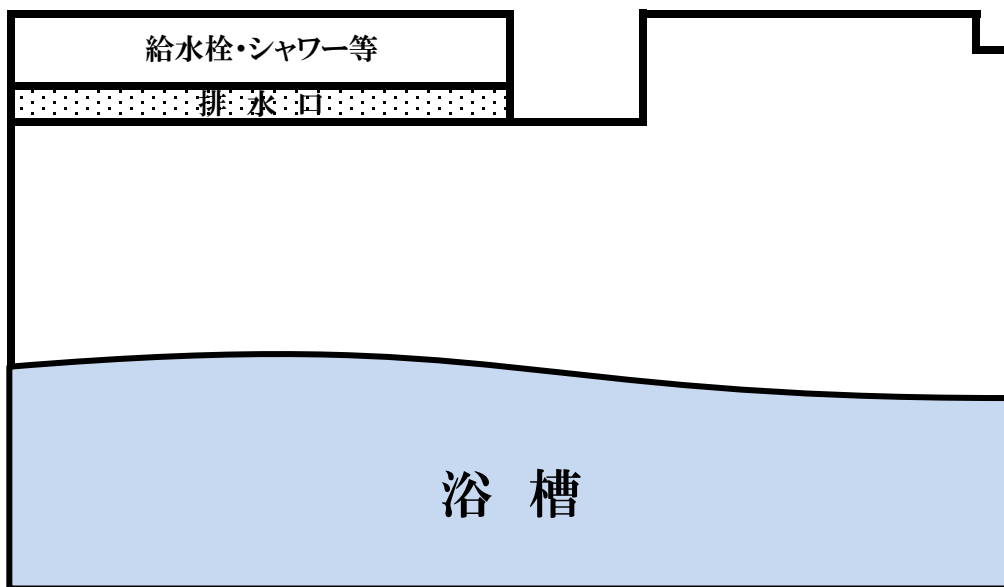
TEL (0791)62-0088 FAX (0791)62-4698

## 『湯ったりたたみ』 施工要領書

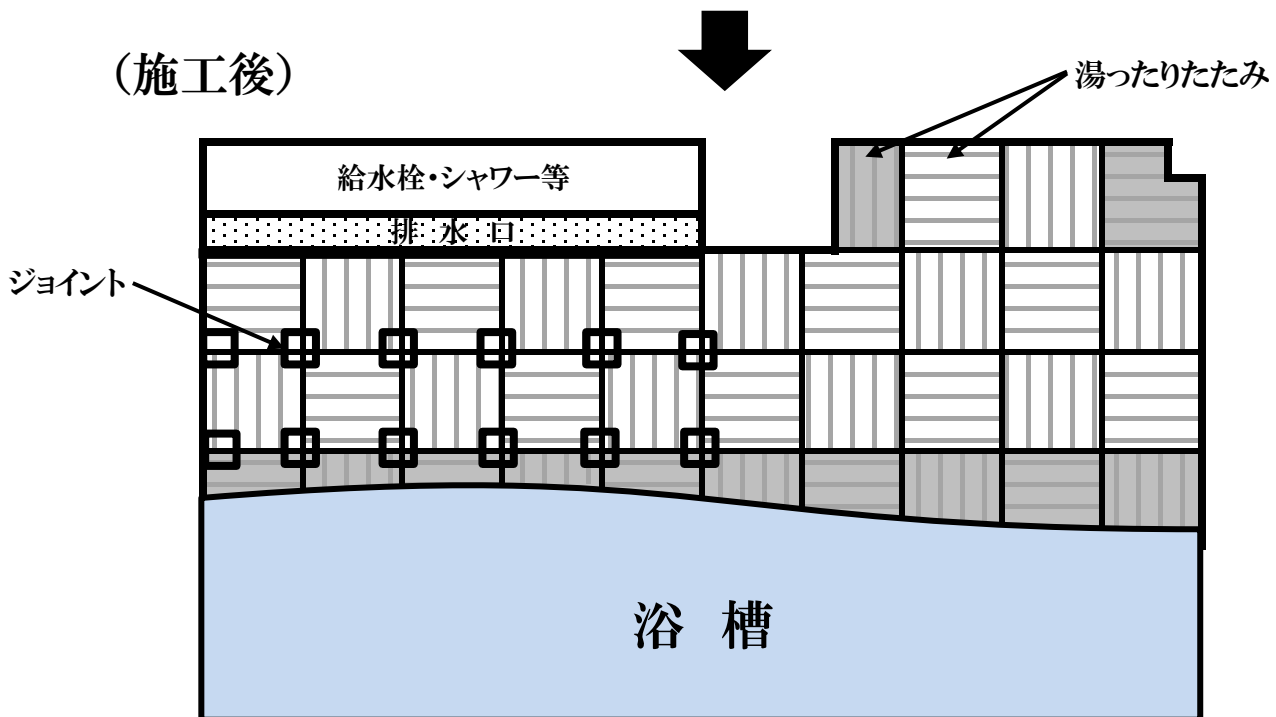
- 本商品は、規格サイズの畳を現場にて寸法に裁断することにより調整し、敷き込むものとなっております。下記例を参考に出来るだけ裁断する箇所が少なくなる様な配置にしてください。  
裁断面は強度が落ちますのでなるべく壁側、浴槽壁側になるように敷き込んで下さい。
- 全面敷き込みを標準としておりますが、排水口等により敷き込みできない場合はジョイント部材を使用して下さい。
- 敷き込み方は市松敷きが基本となります。

### 施工例

(施工前)



(施工後)

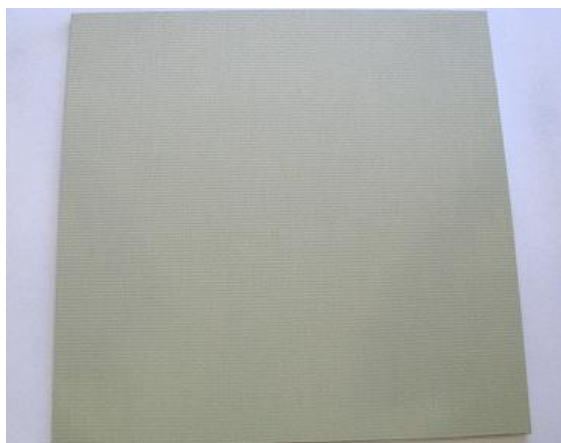


\*  に塗りつぶした畳は裁断が必要な畳。

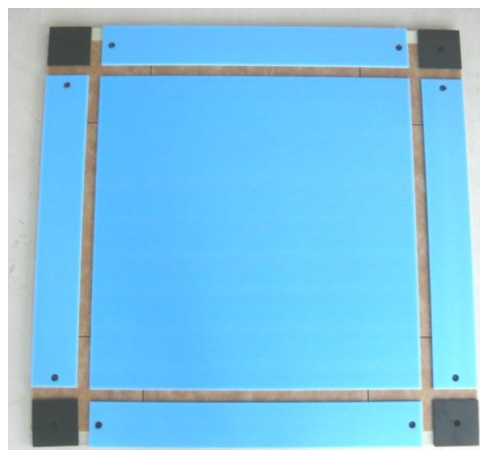
## 1. 施工手順

### 1.1 敷き込み

裁断しない部分の畳を敷き込みます。排水口などにより壁際まで敷き込みが出来ない箇所については、ジョイント部材が必要となります。(後述参照下さい)



湯つたりたたみ 表面



湯つたりたたみ 裏面

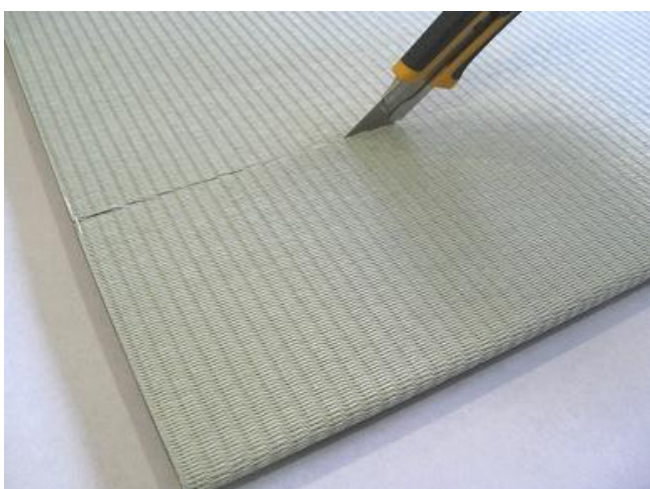
### 1.2 寸法加工

寸法調整が必要な畳を加工します。

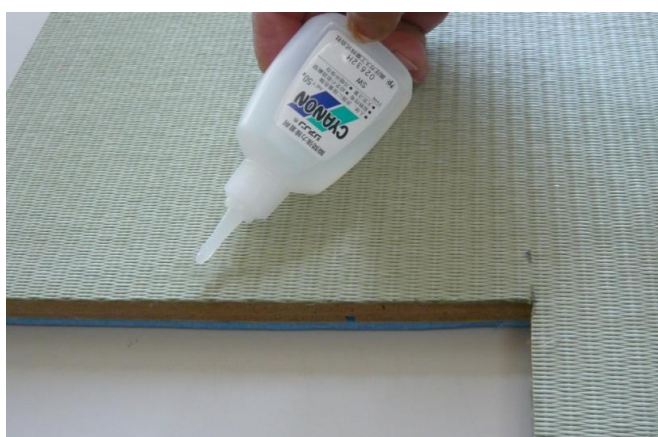
#### ① 裁断

部屋の形状に合わせてカッターナイフ等により畳を裁断します。

なるべく裁断面が壁側、浴槽壁面になるようにして下さい。(裁断面は強度が落ちるため)



#### ② 畳表のほつれ止め



畳表のほつれ止めのため畳表の裁断部に瞬間接着剤を施します。

### ③ 仕上げ、ほつれ止め



裁断面の仕上げと畳表のほつれ防止のためにはんだこて、アイロンなどで畳表の端面を溶かします。(温度は230℃程度が適温です)(畳は樹脂材にて構成されております。必要な箇所以外に接しないように注意して下さい。又、やけど等にも注意して下さい。)

### ④ かえり処理



溶かした部分のかえりを取り除きます。ヤスリ・サンドペーパー等により表の上面に出ているかえりをけずり落として下さい。けずりすぎますとほつれ等の原因となりますので注意して下さい。

③でかえりが出ていなければ必要ありません

以上にて寸法加工処理は終了です。

※出入り口のグレーチング部など敷き詰めが出来ない箇所で段差が出る場合は市販のスロープ材を使用していただくなどつまづき防止の対応を施してください。

#### <オプション部材>



アルミコーナー  
880×15×15mm(耐水両面テープ付き)



スロープ  
880×80×18mm



## 2. ジョイント方法

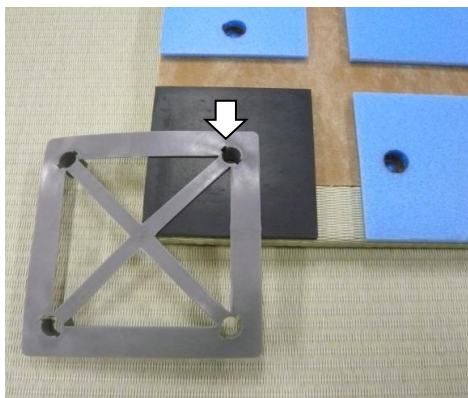
排水口等により敷き詰めが出来ない部分の畳は、ずれ防止の為畳同士を接続する必要があります。同封しておりますジョイント材にて接続します。(接続箇所については施工例を参考にして下さい)



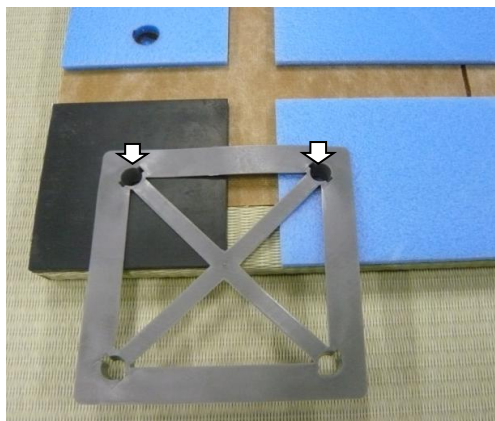
ジョイント材

### ① ジョイント材取付

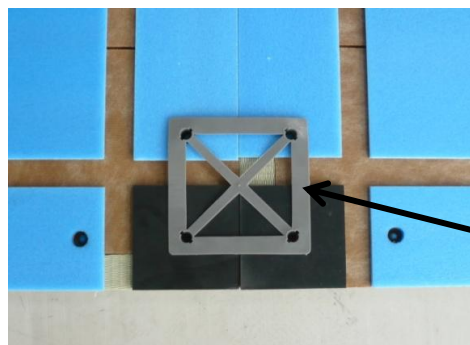
接続する畳の1枚にジョイント材を取付ます。畳裏面の穴にジョイント材の突起部を押し込んで下さい。4枚を接続する場合は一番角にある穴1箇所を、2枚接続する場合は2箇所の穴で接続します。



4枚の畳を接続する場合



2枚の畳を接続する場合

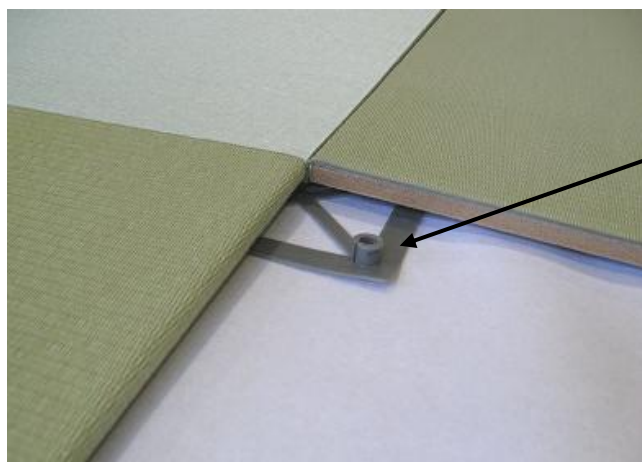


ジョイント材は奥まで押し込んで下さい。キッチリ押し込んでいないと畳に段差が発生する可能性があります。

ジョイント材

### ② 畳のジョイント

ジョイント材を取り付けた畳を敷き込みます。次に接続する畳の裏面の穴とジョイント材の突起を合わせ、上から押し込んで下さい。




ジョイント材

# 『 湯ったりたたみ 』 取扱説明書


この度は、当商品をお買い求め頂きまことにありがとうございます。  
当商品は、浴室の洗い場に敷き込む畳です。浴槽内での使用はできません。  
又、サウナや屋外など極度に高温・低温になる場所でのご使用は避けてください。0℃～50℃  
の範囲内でご使用ください。

ご使用前に本書をよくお読みいただいた上で、ご使用ください。  
長くお使いいただくには日頃のお手入れが重要です。下記をお守りください。

## 安全に関するご注意

 **警告**：取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・ 畳の厚さ（約18mm）の段差が出ますのでつまづき等には十分に注意し、スロープ材などを併用してください。
- ・ 畳の上を走ったり、飛び跳ねたりしないで下さい。ケガや畳が破損したりする可能性があります。
- ・ 畳がズれる場合は必ずジョイント部材で連結してください。
- ・ 日頃からお手入れは必ず行って下さい。怠りますと、雑菌等の発生により人に害を及ぼす可能性があります。
- ・ 畳の殺菌処理後は水又はお湯できれいに洗い流してから使用して下さい。処理剤が残っており人と人に害を及ぼす可能性があります。
- ・ 畳の表面がめくれたり、欠損が生じた場合は使用しないでください。転倒などの恐れがあります。

 **注意**：取扱いを誤った場合、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的傷害の発生が想定される内容です。

- ・ 畳の上に重いものを置いたり、椅子を使用したりしないで下さい。変形や破損の原因となります。
- ・ 熱源の近くでのご使用はしないでください。樹脂で出来ていますので、変形したり溶けたりする可能性があります。
- ・ 乱暴に扱わないでください。投げたり、落としたりすると変形したり破損したりする可能性があります。
- ・ 畳の上で物をひっぱたり、引きずったりしないで下さい。畳が傷む原因になります。
- ・ シンナー・灯油等が付着しないようにしてください。

## お手入れの仕方

### ●日頃のお手入れ

- ・ ご使用後は中性洗剤を柔らかいスポンジやタオル等に付け、軽くこすり、水またはお湯で洗い流して下さい。裏面・側面も同様に洗い、水を切り風通しの良い状態にして十分に水気を切ってください。
- ・ 畳清掃時には、床面（タイル等）も併せて清掃して下さい。

### ●定期的なお手入れ

- ・ 週に1度くらいのサイクルで殺菌処理を行ってください。  
殺菌剤としては消毒用エタノール・次亜塩素酸ナトリウム等があります。
- ・ 消毒用エタノールはスプレーボトルなどで、まんべんなくスプレーするだけで効果的ですが、汚れがある場合には汚れを落としてから殺菌処理を行ってください。
- ・ 次亜塩素酸ナトリウムは、非常に強い効能がありますので規定の濃度に希釈し、正しい方法で使用するようにしてください。消毒後は、若干塩素臭が残りますので気になる場合は避けてください。又、お湯の成分によっては使用できない場合もありますので確認の上ご使用ください。
- ・ 畳を殺菌処理する時には、床面も併せて殺菌処理をして下さい。
- ・ カビや黒ずみが発生した場合は天日で十分に乾燥させてからカビ取り洗剤などで除去してください。